

**特定非営利活動法人 最終処分場技術システム研究協会 (NPO・LSA)**

**第 56 回技術セミナーのご案内**

この技術セミナーは環境分野で活躍し豊富な経験をお持ちの方々や、関連する分野の専門家の方々を講師に迎えての勉強会であり、意見交換会です。講師には環境問題に対する熱き思いとたっぷり詰まった経験や知識とをご披瀝いただき、その題材をもとに自由でくつろいだ雰囲気の中で質疑や意見交換を行います。NPO・LSA 会員に限らず、どなたでも自由に参加できます。このセミナーの目的の一つは、環境関連技術等に関する経験・知識の次世代への伝授です。参加者の研修の場ととらえてもらっても結構です。この場を借りて、こんなことを聞きたい、こんな意見を持っているのだが講師や参加者はどのようにお考えか等々で話し合いも行います。参加の目的は問いませんので、自由にご参加ください。

◆開催日時： 令和 8 年 6 月 5 日 (金) 16 時 30 分～18 時 30 分

◆開催場所： 新宿 NPO 協働推進センター 501 会議室 (添付の地図を参照願います。)

◆講師： ウェスト マネジメントコンサルタント 代表 加藤隆也氏

◆テーマ： 産業廃棄物最終処分場の許可 常識？非常識？

◆概要：

産業廃棄物最終処分場においては、設置許可を取得するにあたり、行政や行政が設置する専門家委員会との協議や対応が、役割の多くの部分を占め、NPO・LSA において、共に研究開発を行ってきた最終処分場の技術というものに加え、法令知識や交渉術というものの重要性を痛感しています。

そのようななかで、我々が当たり前だと思っていたことが、一切議論されないまま、設置が許可されたり、当然検証されなくてはならない重要な事項に一切触れることなく、設置されている事例に遭遇します。

我々最終処分場技術研究協会はこれまで、その活動のほとんどが、一般廃棄物最終処分場を対象として、また純粋な処分場技術のみを研究分野として活動を進めて来ました。一方でより数が多く、構造自体が異なる安定型処分場までを範疇とする産業廃棄物最終処分場においては、計画設計を行う側、許認可権を持ち審査する側双方において、純粋な技術に加え、法的解釈含めて研鑽しなくてはいけない事が多くあると感じています。

今回の機会にその一部を紹介させていただき、皆様のご意見をお聞きする事で、本協会が正しい産業廃棄物最終処分場が、当たり前を受け入れられるような社会をつくることに、何ができるか、何をすべきかを一緒に考えていければと思います。

◆参加者：自由

会員に限らず、どなたでも自由参加です。先着 60 名様までといたします。

参加希望者は、下記 URL または QR コードの参加申込フォームにより、お申込みください。

申込受付の返信は原則行いません。

問い合わせは、ホームページのお問い合わせよりご連絡ください。

参加申込フォーム <https://forms.office.com/r/Cyf86w7C5W>

◆参加費用：2,000 円 (税込み)

当日、現金でお支払ください。領収書をお渡しします。



